

実践報告： 立教大学共生社会研究センター

立教大学共生社会研究センター
平野 泉 (izhirano@rikkyo.ac.jp)

報告の流れ

1. 立教大学共生社会研究センターと所蔵資料
2. 練馬母親連絡会資料：受贈の経緯/構造と内容/整理と活用
3. 女性アーカイブズを、おおいに使おう

1. 立教大学共生社会研究センターとは



3

1. 立教大学共生社会研究センターとは



- 設立は2010年
- 埼玉大学・立教大学の合意により、埼玉大学共生社会教育研究センターの所蔵資料を共同管理
- 2010年以降の受け入れ分も

4

1. 立教大学共生社会研究センターとは

目的(センター規則 第2条)

「…埼玉大学と協力して、国内外における多様な市民の社会活動に関する資料を収集整理、保存、公開し、それに基づく実証研究を通じて、持続可能な共生社会の実現に資すること」

「多様な市民の社会活動に関する資料」



S01 吉川勇一氏旧蔵・「べ平連」運動関連資料



R09/10 下垣桂二氏・楠原彰氏旧蔵
反アパルトヘイト運動関連資料

「女性アーカイブズ」とは...?

- 女性が作った?
- 女性に「関する」?

とりあえず

「女性の、女性による、でもみんなのためのアーカイブズ」
だとすると...

2. 現在の職場:立教大学共生社会研究センターについて

センターの「女性アーカイブズ」



S13 三井絹子氏旧蔵・障害者運動資料



S14 松井やより氏旧蔵
資料(公害・環境・開発
関係)

もっとも利用されているのは...



S12 練馬母親連絡会資料

報告の流れ

1. 立教大学共生社会研究センターと所蔵資料
2. 練馬母親連絡会資料: 受贈の経緯/構造と内容/整理と活用
3. 女性アーカイブズを、おおいに使おう

2. 練馬母親連絡会資料

【練馬母親連絡会とは】

1957年 第3回日本母親大会に参加した練馬の女性たちを中心に発足

- 多様な活動をする個人やグループの交流・学習・行動の場
- 規約・会則も役員もなし
- 連絡会に持ち込まれる問題→学習・討議・行動へ
- 長年にわたって練馬の女性運動の中核をになう

1969年～ 林光さんが実務を担当、お宅が事務局に

1972年～1991年 機関誌「豆ニュース」発行(261号まで)

2. 練馬母親連絡会資料

【受贈の経緯】

- 練馬区の図書館司書(Oさん)の「配転」闘争:練馬母親連絡会メンバーが支援(1968-74)
- Oさん→某市立図書館長を経て退職後は埼玉大学の非常勤講師に
- 2001年: 林光さんが亡くなる ……資料はどうなる?
- 連絡会メンバーからOさんに情報→埼玉大学経済学部資料室のWさんへ
- Wさんから埼玉大学共生社会研究センターへ
- 連絡会中心メンバーとの協議のすえ、受贈決定→2001年9月に寄贈
- 2012年3月、立教へ移送

2. 練馬母親連絡会資料

【資料の内容・構造】

- 連絡会の活動を反映する、幅広い内容の資料
- テーマごと、案件ごと、年代順などにファイルされているものが多い
- ほぼ、林さんのご自宅にあったままの配列を保つ
- 系列をなすまとまり(シリーズ)については、配列を変更した部分も
例: 「豆ニュース」バックナンバー、年ごとの「練馬母親連絡会」ファイルなど

2. 練馬母親連絡会資料

【目録は「棒リスト」——あまり手をかけていない】

- 埼玉大学時代に作ったずらずらとしたリストを現在も使用
- 林光編『練馬の主婦たちのあゆみ／略年表』(1997年)の活動内容分類をリストに適用し、活動テーマごとにまとめて見られるように

2. 練馬母親連絡会資料

【目録は「棒リスト」——あまり手をかけていない】

資料群タイトル	略年表分類 ソート	旧資料番号 (書架の配列)	請求番号(資料番 号訂正後)	略年表分 類	資料名・フォルダ名	編著者・団体	年代
練馬母親連絡会資料	3750	1	1	L	練馬の主婦たちのあゆみ/略年表	練馬母親連絡会	1997.00.00
練馬母親連絡会資料	2522	2	2	C	「月刊社会教育」に掲載された練馬の母親運動と社会教育		2001.00.00
練馬母親連絡会資料	3755	3	3	L	故林光さんの軌跡・他		1998.00.00?
練馬母親連絡会資料	2368	4	4	C	東京都の婦人学級30年—女性の主体形成のあゆみをみる—	東京都婦人学級史研究会	1997.00.00
練馬母親連絡会資料	2369	5	5	C	東京都の婦人学級30年 パートII	東京都婦人学級史研究会	2000.00.00
練馬母親連絡会資料	3021	6	6	G	練馬住民運動連絡会資料	練馬住民運動連絡会	-2000.00.00
練馬母親連絡会資料	2142	7	7	A	保育園に関するアンケート調査まとめ	風の子会・風の子共同保育園	1986.00.00
練馬母親連絡会資料	2366	8	8	C	ねりま福祉の会20周年記念 婦人学級のあゆみ 1972-1991	ねりま福祉の会	1992.00.00
練馬母親連絡会資料	2705	9	9	E	芳心(練馬寝たきり老人(痴呆含む)家族とボランティアの会「む	練馬寝たきり老人(痴呆含む)家族	1993.00.00
練馬母親連絡会資料	3052	10	10	H	なぜ・NAZE	グループ“なすな”	1980.07.15
練馬母親連絡会資料	3053	11	11	H	なぜ・NAZE	グループ“なすな”	1980.11.01
練馬母親連絡会資料	3055	12	12	H	なぜ・NAZE	グループ“なすな”	1981.05.10
練馬母親連絡会資料	3056	13	13	H	なぜ・NAZE	グループ“なすな”	1981.11.01
練馬母親連絡会資料	3064	14	14	H	なぜ・NAZE	グループ“なすな”	1982.07.01
練馬母親連絡会資料	3068	15	15	H	なぜ・NAZE	グループ“なすな”	1983.05.10
練馬母親連絡会資料	2301	16	16	B	第1回児童館を考える集い 報告集	「児童館を考える集い」実行委員会	1992.00.00
練馬母親連絡会資料	2312	17	17	B	第4回練馬の児童館を考える集い	練馬の児童館を考えよう会	1995.01.29

15

林さんによる 活動内容の分類 (一部)

分類記号	項目1	項目2	分類記号	項目1	項目2
A	教育・PTA活動	勤務評定 学テ PTA予算 高校増設 給食センター 用途地域 教育委員 私学助成 いじめ 40人学級 学習指導要領 学校5日制 教科書検定	G	環境・町づくり	環状8号 用途地域等の地域地区制度 練馬住民運動連絡会議 都市問題研究会 練馬まちづくり研究会 グループなすな 国連婦人の10年 婦人問題懇談会 優生保護法 婦人会館 井田恵子、日弁連事務総長 安保
B	子どもと文化	保健衛生 遊び場 保育 学童クラブ 児童館 住環境(ポルノ、パチンコ、場外馬券 子ども劇場・文化センター、子どものくに エンゼルプラン いじめ、登校拒否、不登 青少年健全育成条例 文庫・図書館 子ども白書	H	婦人問題	青法協任官拒否 刑法改正 反核・非核都市宣言 戦犯処刑者記念碑 戦争体験 スパイ防止法 拘禁2法 天皇報道 湾岸戦争 PKO 日の丸・君が代 平和祈念碑 高校生平和集会 沖縄少女暴行事件
C	社会教育	婦人問題研究会 社会教育研究 講師派遣制度 社会教育施設 家庭教育学級 女性学級、母親学級 婦人学習グループ連絡会	I	平和	自治研修会 出張所 区職労 自治法 教育行政 情報公開 区民センター 自治フォーラム
D	障害児	不就学児 グラントハイソ ちゃぼとひよこ 養護学校 駅・駅周辺施設 その他公共施設	J	住民自治	

16

2. 練馬母親連絡会資料

【この分類を反映してみる】



資料群タイトル	略年表分類 ソート	旧資料番号 (書架の配列)	請求番号(資料番 号訂正後)	略年表分 類	資料名・フォルダ名	編著者・団体	年代
練馬母親連絡会資料	3750	1	1	L	練馬の主婦たちのあゆみ/略年表	練馬母親連絡会	1997.00.00
練馬母親連絡会資料	2522	2	2	C	「月刊社会教育」に掲載された練馬の母親運動と社会教育		2001.00.00
練馬母親連絡会資料	3755	3	3	L	故林光さんの軌跡・他		1998.00.00?
練馬母親連絡会資料	2368	4	4	C	東京都の婦人学級30年ー女性の主体形成のあゆみをみるー	東京都婦人学級史研究会	1997.00.00
練馬母親連絡会資料	2369	5	5	C	東京都の婦人学級30年 パートII	東京都婦人学級史研究会	2000.00.00
練馬母親連絡会資料	3021	6	6	G	練馬住民運動連絡会資料	練馬住民運動連絡会	-2000.00.00
練馬母親連絡会資料	2142	7	7	A	保育園に関するアンケート調査まとめ	風の子会・風の子共同保育園	1986.00.00
練馬母親連絡会資料	2366	8	8	C	ねりま福祉の会20周年記念 婦人学級のあゆみ 1972-1991	ねりま福祉の会	1992.00.00
練馬母親連絡会資料	2705	9	9	E	芳心(練馬寝たきり老人(痴呆含む)家族とボランティアの会「む	練馬寝たきり老人(痴呆含む)家族	1993.00.00
練馬母親連絡会資料	3052	10	10	H	なぜ・NAZE	グループ“なすな”	1980.07.15
練馬母親連絡会資料	3053	11	11	H	なぜ・NAZE	グループ“なすな”	1980.11.01
練馬母親連絡会資料	3055	12	12	H	なぜ・NAZE	グループ“なすな”	1981.05.10
練馬母親連絡会資料	3056	13	13	H	なぜ・NAZE	グループ“なすな”	1981.11.01
練馬母親連絡会資料	3064	14	14	H	なぜ・NAZE	グループ“なすな”	1982.07.01
練馬母親連絡会資料	3068	15	15	H	なぜ・NAZE	グループ“なすな”	1983.05.10
練馬母親連絡会資料	2301	16	16	B	第1回児童館を考える集い 報告集	「児童館を考える集い」実行委員会	1992.00.00
練馬母親連絡会資料	2312	17	17	B	第4回練馬の児童館を考える集い	練馬の児童館を考えよう会	1995.01.29

17

2. 練馬母親連絡会資料

【トピックごとに年代順表示】



資料群タイトル	略年表分類 ソート	旧資料番号 (書架の配列)	請求番号(資料番 号訂正後)	略年表分 類	資料名・フォルダ名	編著者・団体	年代
練馬母親連絡会資料	2000	1742	1744	A	みんなそろって高校へ!	高校全員入学問題全国協議会	0000.00.00
練馬母親連絡会資料	2001	1639	1641	A	介護保険制度がはじまります 平成12年4月1日から	(財)長寿社会開発センター	0000.00.00
練馬母親連絡会資料	2002	1741	1743	A	皆なそろって高校へ!	高校全員入学問題全国協議会	0000.00.00
練馬母親連絡会資料	2003	1735	1737	A	教育基本法廃止など劇的提案に緊張	不明	0000.00.00
練馬母親連絡会資料	2004	1734	1736	A	高等学校制度及び教育内容に関する改革案 中間まとめ	自由民主党文教部会初等教育チ	0000.00.00
練馬母親連絡会資料	2005	1224	1224	A	市民講座Cコース資料 今後における学校教育の総合的な拡	東京都教育庁社会教育部成人教	0000.00.00
練馬母親連絡会資料	2006	197	197	A	地域教育計画と住民運動	坂本秀夫	0000.00.00
練馬母親連絡会資料	2007	1229	1229	A	教育三問スル勸語	不明	0000.00.00
練馬母親連絡会資料	2008	1227	1227	A	教育三問スル勸語(全文)	不明	0000.00.00
練馬母親連絡会資料	2009	1230	1230	A	文部省著作教科書 民主主義 下	文部省	1949.08.26
練馬母親連絡会資料	2010	1730	1732	A	第1次全入プリント	高校全員入学を実現する学生連	1956.00.00
練馬母親連絡会資料	2011	1740	1742	A	高校教育を守る研究集会の手引	日本教職員組合 日本高等学校教	1961.08.27
練馬母親連絡会資料	2012	1739	1741	A	高校教育を守る集会資料 定数法、全入関係資料	日本教職員組合 日本高等学校教	1961.08.27
練馬母親連絡会資料	2013	1728	1730	A	1962年度 高校全入運動活動報告書	高校全員入学問題全国協議会	1962.00.00
練馬母親連絡会資料	2014	1738	1740	A	教育評論	日本教職員組合	1962.07.01
練馬母親連絡会資料	2015	1725	1727	A	東京の高校増設運動	高校増設すしつめ解消都民対策	1963.01.20
練馬母親連絡会資料	2016	1743	1745	A	第2次高校全入教育国民大行動 各県婦人交流会記録	高校全員入学問題全国協議会	1963.02.28

18

2. 練馬母親連絡会資料

【連絡会資料の魅力】

- 一つの地域で息長く・幅広く展開した活動:どんなテーマでも何かひっかかる

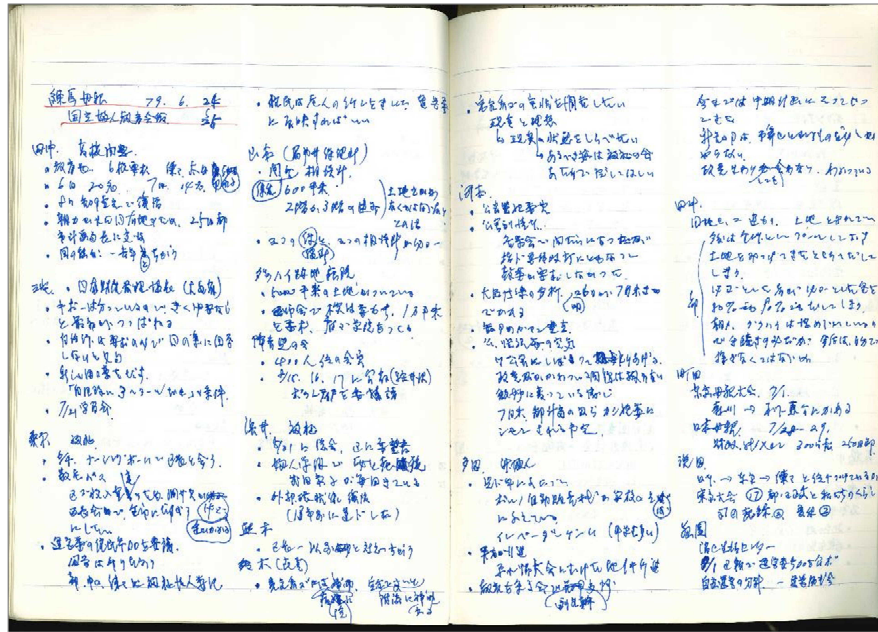
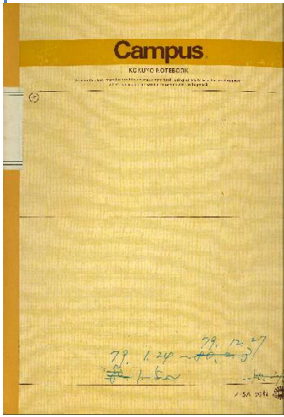
2. 練馬母親連絡会資料

【連絡会資料の魅力】

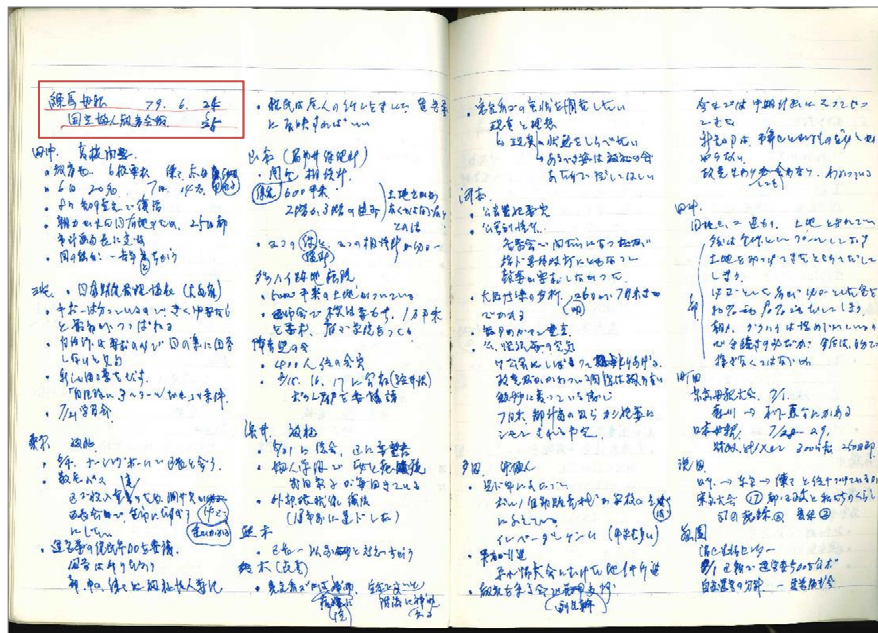
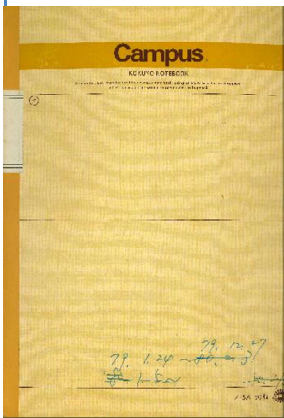
- 一つの地域で息長く・幅広く展開した活動:どんなテーマでも何かひっかかる
- 「豆ニュース」というニュースレター × 林光さんのノート = パワー倍増



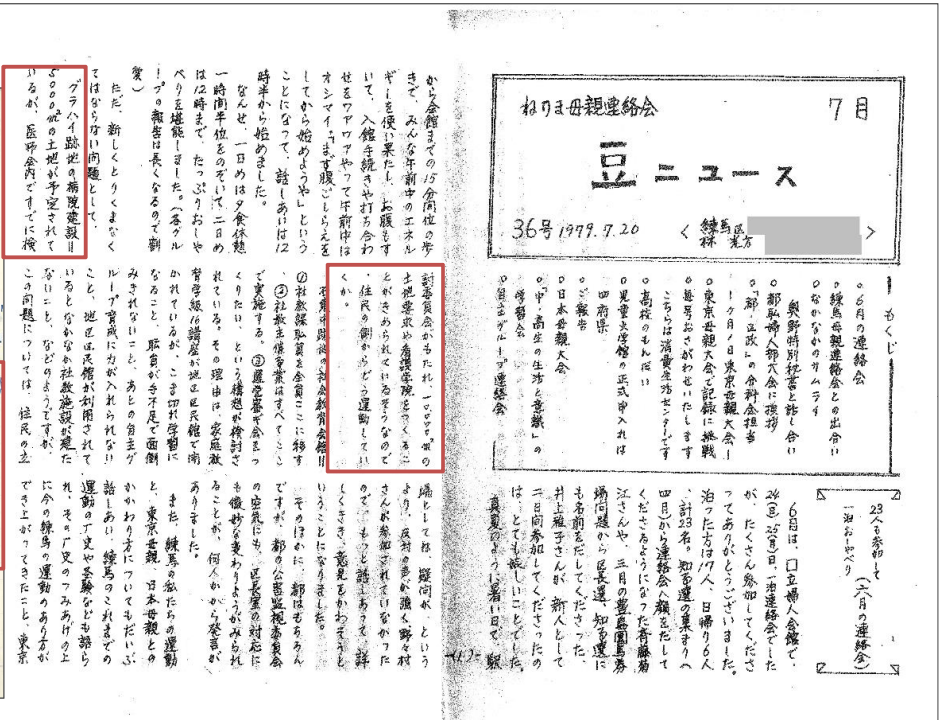
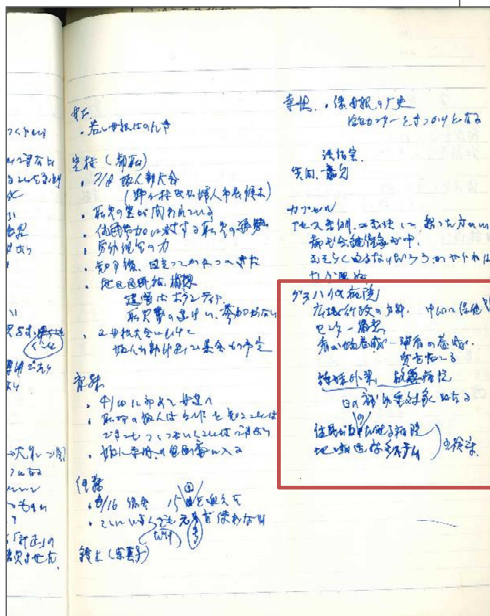
林光さんのノート「79.1.24~79.12.27」(S12-1687)



林光さんのノート「79.1.24~79.12.27」(S12-1687)



林光さんのノート「79.1.24~79.12.27」(S12-1687)



2. 練馬母親連絡会資料

【利用を支えるのは】

- 一つの地域で息長く・幅広く展開した活動:どんなテーマでも何かひっかかる
- 「豆ニュース」というニュースレター×林光さんのノート=パワーは何倍にも
- 文学部史学科ゼミでの「史料読み」
- 「練馬女性史を拓く会」の活動

2. 練馬母親連絡会資料

【文学部史学科ゼミでの「史料読み」】

- 「豆ニュース」や林さんのノートなどを、手分けしてじっくりと読み進める
- 担当した部分の人名や事象をしっかりと調べて発表
- 一部は3年次の「予備論」として研究成果に

2. 練馬母親連絡会資料

【文学部史学科ゼミでの「史料読み」】

- 「豆ニュース」や林さんのノートなどを、手分けしてじっくりと読み進める
- 担当した部分の人名や事象をしっかりと調べて発表
- 一部は3年次の「予備論」として研究成果に

【「練馬女性史を拓く会」の活動】

- 1997年から自主グループとして活動
- 成果物『始まりはひとりから』（2003年～ 8冊刊行）
- 史学科ゼミの学生の大きいなる助けに！



2. 練馬母親連絡会資料

【ゼミと「拓く会」のコラボ】

・ 2016年7月9日(土)センター公開講演会

「『母親』たちはなぜ動いたのか? —学生と語る 1970-90年代の練馬母親連絡会」開催
3名の学生が「史料読み」の成果を報告+「拓く会」のお二人の講演

資料を読む学生-資料を生み出す活動を知る人が直接つながる

★ 当日の記録はこちらから: <http://hdl.handle.net/11008/1347>



PRISM No.9 (2016-11) <http://hdl.handle.net/11008/1348>

久芳理沙さんの報告内容

「母親」たちの行動力を都立高校増設運動からみる-55年予算復活を事例にして-

- ・ 1979年、新たに選出された鈴木俊一都知事が、選挙後の補正予算で練馬区・大田区の高校増設予算をカットすると報道(1979年6月5日)
- ・ 連絡会を含む住民たちの運動が、決定をくつがえす(6月9日)
- ・ しかし、この4日間の住民の動きは、当時の新聞では全く報じられていなかった

「...世の中に普及するメディアの報告の裏にある、住民たちの本當の努力や行動にもっと注目し、知っていくことが必要であると思う。」

練馬の高校増設運動

(『始まりはひとりから—練馬の女性たちの記録 総論編 その一』(2010)より)

50年代終わり～生徒数急増で高校はすし詰め状態に

1963 練馬高校増設推進協議会(区長顧問、小・中学校校長会、小・中PTA連合会、練馬教職員組合六団体、練馬母親連絡会)

1964 練馬工業高校と練馬高校開校

1973 区長準公選方式で田畑健介区長誕生、第2次ベビーブームの高校増設運動開始

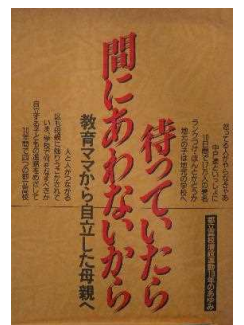
練馬高校問題連絡会結成(第1次運動参加者、学習グループ、練教組、都高教第三支部、練馬母親連絡会)

「怒っている人がやらなくちゃあ」

(『高校増設運動10年のあゆみ 待っていたら間にあわないから

—教育ママから自立した母親へ』練馬高校問題連絡会(1986)』

座談会



鈴木喜美子「…(略)…練馬の場合は、PTAの運動が母親連絡会を中心にしてすごくさかんになっていて、…(略)…みんなそれぞれ活動をしている人たちが、増設運動をやらなきゃ、やらなきゃといってずいぶん話しあいをしたのよ。」

→なかなか動き出さず、自分の子どもも都立に決まる。しかし、どの学校に行くかを「なぜ、自分たちで決められないんだろう、という不満があった」鈴木さんは…

「怒っている人がやらなくちゃあ」

(『高校増設運動10年のあゆみ 待っていたら間にあわないから』)

座談会(続き)

鈴木喜美子「だから母親連絡会にくると、憤懣やるかたなく、…(略)…問題だっ
て思ってることなんかをぶちまけると、「そうやって文句をいう人が運動をやるべ
きよ」って、寺沢さんなんかにいわれてたの。」

そうこうするうちに練馬では子どもの数が急増し、鈴木さんは「第三学区は
運動しないとたいへんなことになる」と感じ…

「怒っている人がやらなくちゃあ」

(『高校増設運動10年のあゆみ 待っていたら間にあわないから』)

座談会(続き)

鈴木喜美子「…(略)…それで、母親連絡会で「じゃあ運動はじめるけど、ほんとにみんな
いっしょにやってくれるの」っていうと、みんなが「やるわよ」って。そういうことで、私
もはじめる気になったわけ。」

予算復活の4日間について、『10年のあゆみ』は・・・

(『高校増設運動10年のあゆみ 待っていたら間にあわないから』)

p.136 1979年、都教育庁・就学計画の予算措置＝高校新設は8校→6校へ

「・・・(略)・・・さらに6月補正予算の知事査定では、この新設六校のうち二校(練馬区・大田区)カット、という新聞発表がありました。

私たちはがく然とし、すわたいへんと、その夜のうちに、電話が練馬中を走り、翌日から知事室、都議会に対して連日、抗議と予算復活の要請行動をつづけた結果、ようやく練馬、大田区の二校分の予算を復活させることができました。」

予算復活の4日間について、連絡会のファイルは・・・

ファイル「高校問題<79-81>」

S12-1205 「練馬高校問題連絡会ニュース」

(1979年7月21日発行):前後の動き

「5.21 六月補正予算のための対都要請を都職労と合同で行動。

5.29 六月補正にむけて都議会政党要請。教育庁施設部用地係に用地取得の促進を要請。

6.5 六月補正予算都知事査定の結果、高校増設四校(練馬、太田の二校カット)しか認めないと新聞報道。

6.6 五日のニュースをみて急遽連絡をとりあい、各政党、知事室、教育長等に強力に復活要請。十二名参加。

6.7 都高連とともに、昨日に続いて要請行動。十二名参加。

6.9 テレビ、新聞、高橋知一都議の電話などで、練馬の高校予算復活のニュースを知らされ、五十五年に大泉学園町(キャンプ朝霞跡地)に高校開放(ママ)の予算を獲得することができた。」



予算復活の4日間について、「豆ニュース」は・・・

「豆ニュース」35号(1979.06.24)

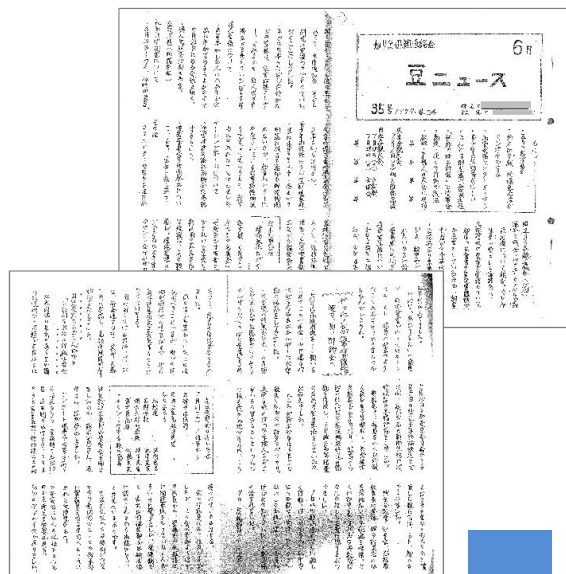
p.4「やった!高校予算復活 連日、都・都議会へ」

「... 選挙の時には「中学浪人をださないよう努力する」といった口の根も乾かぬ就任早々に、こうもはっきり裏切ったものかと憤慨した親たちは、6日、都にかけこみました。

議会各政党、知事室、財務局、教育長に要請。都市計画局には国有地払い下げ促進を陳情。とくに知事室では20名の母親がロタに應對した主査に怒りをぶつけました。

7日にも都高連とさらに激しく行動。はじめて参加した中学生の母親は「先ぱいたちがこんなにして高校が建ったんですね。はじめて知りました。」と感慨深く話されました。

9日、高橋都議からの連絡もあって、練馬の復活が知らされました。」



37

多様な形態の資料が
女性たちの多様な声を
そして「怒り」や「熱」も
伝えてくれる

38

報告の流れ

1. 立教大学共生社会研究センターと所蔵資料
2. 練馬母親連絡会資料：受贈の経緯/構造と内容/整理と活用
3. 女性アーカイブズを、おおいに使おう

3. 女性アーカイブズを、おおいに使おう

- アーカイブズは、「残す」だけでは残し続けられない
- 使うことが、残すことを支える
- 使うことがもたらす、様々な気づき、励まし、出会い
- アーカイブズを使うこと=それを作った人びとと出会うこと
- 過去を生きた人々の思いと経験を未来へリレーする

3. 女性アーカイブズを、おおいに使おう

- アーカイブズは、「残す」だけでは残し続けられない
- 使うことが、残すことを支える
- 使うことがもたらす、様々な気づき、励まし、出会い
- アーカイブズを使うこと=それを作った人びとと出会うこと
- 過去を生きた人々の思いと経験を未来へリレーする
→ しっかりバトンを受け取り

次の世代へ手渡すのが私たちの役目



3. 女性アーカイブズを、おおいに使おう

- アーカイブズは、「残す」だけでは残し続けられない
- 使うことが、残すことを支える
- 使うことがもたらす、様々な気づき、励まし、出会い
- アーカイブズを使うこと=それを作った人びとと出会うこと
- 過去を生きた人々の思いと経験を未来へリレーする
→ しっかりバトンを受け取り

次の世代へ手渡すのが私たちの役目



ご清聴ありがとうございました。

izhirano@rikkyo.ac.jp